

独立行政法人 **森林総合研究所**

文部科学省科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成事業

(平成19~21年度)



振興調整費

「応援します！ 家族責任を持つ女性研究者」

エンカレッジモデル

男女共同参画室

金指 あや子

独立行政法人 森林総合研究所の女性研究者

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html>

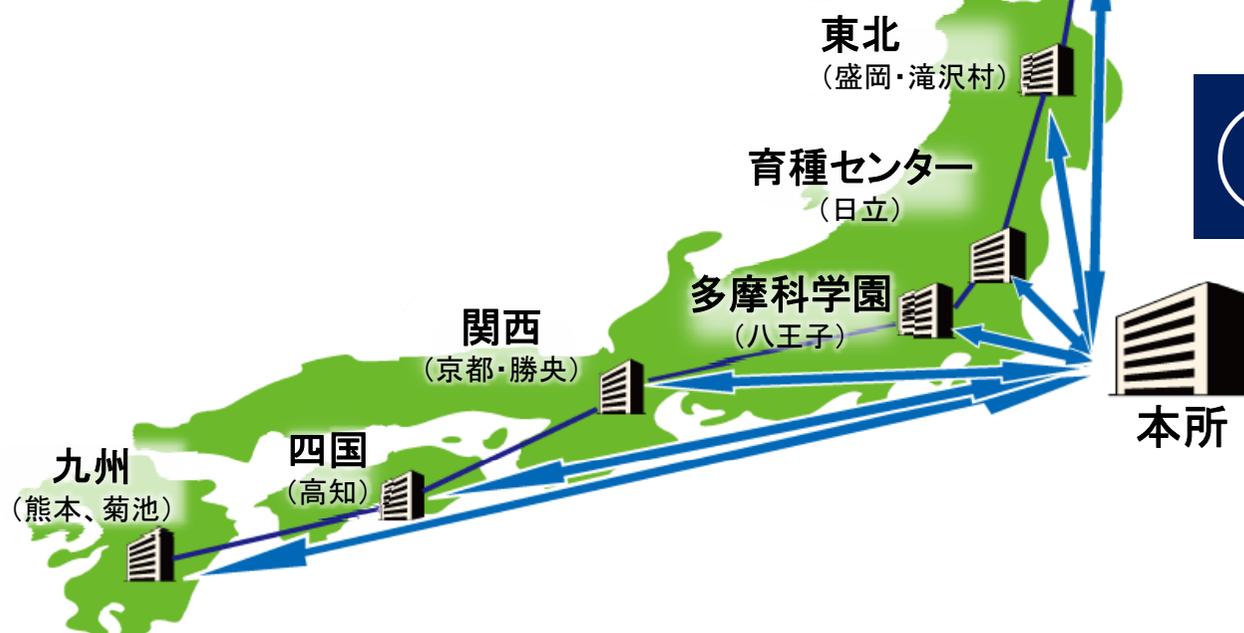


職員数… 1,264名
うち研究職員 469名
うち女性研究職員 49名
10.4%



本支所等…

本所 (つくば市)
支所・科学園 全国 6地域
育種センター、育種場 全国 5地域



① 転勤と出張



森林総合研究所の女性研究職員

女性研究職員 10.4%

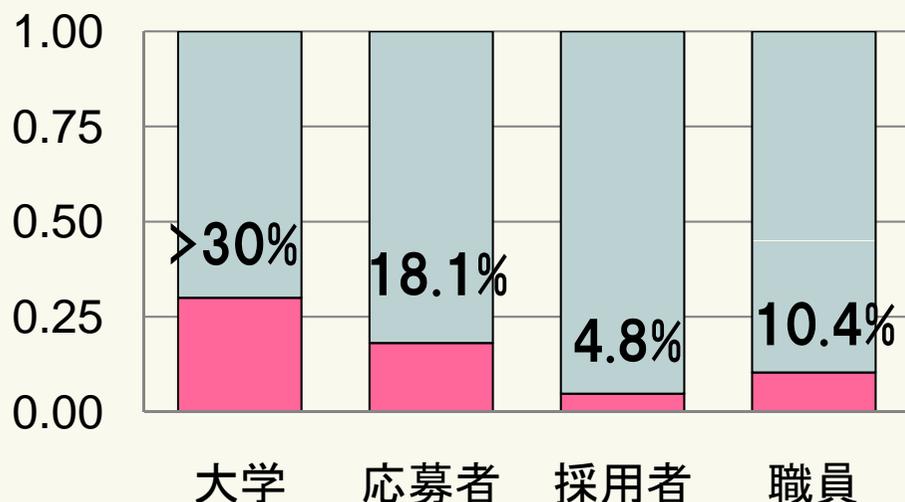
管理職 1.6%

室長等 2.9%

研究職女性の7割：
40代前半以下

②若い年代層

森林科学系大学と森林総研にかかわる女性比率 (H16-20 平均)



③応募・採用の壁

① 転勤と出張

② 出産・育児年代

③ 応募・採用の壁



振興調整費

エンカレッジモデル

「応援します！
家族責任を持つ女性研究者」



実施内容

① 推進体制の整備

② 育児・介護のサポートシステム整備

③ IT環境の整備

④ 次世代研究者育成支援

① 推進体制の整備

・・・組織体制および両立支援勤務制度・休暇制度の整備

(1) 組織体制の整備

・推進本部の設置

- 推進委員会、推進室、各種作業部会
- 推進本部アドバイザー:原 誠 (お茶の水女子大学)

・男女共同参画室の設置

- 室長(本務)、室員2名(研究員、事務員)



(2) 両立支援に関わる各種制度の整備

・休暇・勤務制度の改善

(育児短時間勤務07 Oct.～、子の介護に関わる休暇09 Jan～)

・裁量労働制の導入 (09 Jul.～)

・HPの開設とQ & Aによる周知 (07 Aug.～)

<http://enc.fpri.ac.jp/>

・両立支援ガイドブックの発行 (09 Nov.～)



② 育児・介護のサポートシステム整備

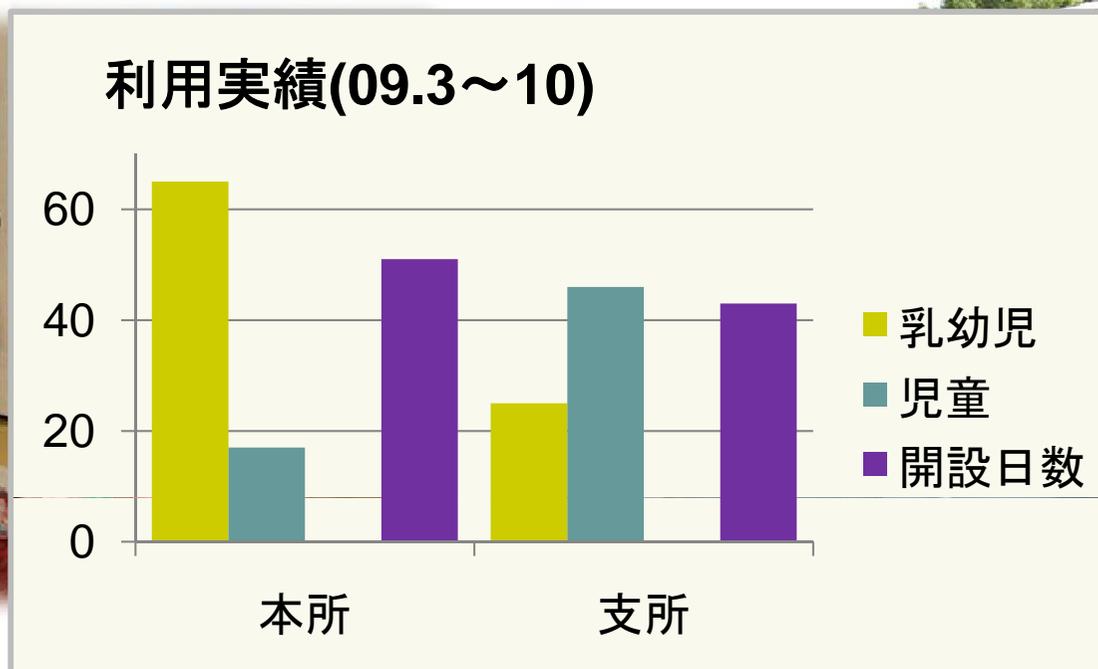


(1) 保育サポート

一時預り保育室の開設 (本所、関西支所の2カ所、09 Mar.~)

ベビーシッター支援制度 (各支所等 10 Jan. ~)

地域の育児・介護情報の収集・提供 (HPにて、08 Feb.~)



② 育児・介護のサポートシステム整備

(2) 研究支援

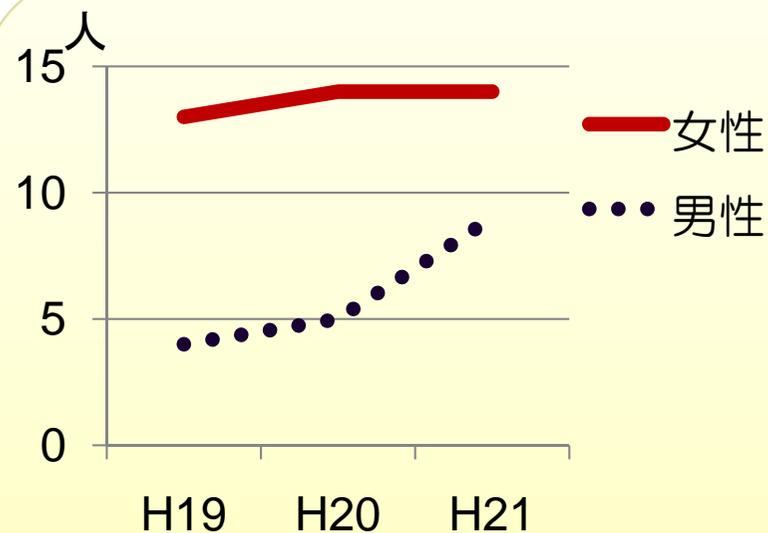
- ・研究用PC, ソフトウェアの貸与、研究補助員の雇用(07 Dec.~)
- ・育児・介護休業中研究者への文献検索・複写サービスの開始(08 Feb.~)



★インフルエンザの子供の看護中でも論文審査に対応できた。

★育休中でも研究との接点を持ち続けることができた。

★所として応援する姿勢を示してくれたことが大きい



研究支援利用者数

③IT環境の整備

…出張を減らす、情報の共有(情報格差の是正)



- テレビ会議システムの導入
- Webミーティングシステムの導入

★ 計131回

★開催地以外の女性の参加
のべ320名(07.10~09.3)



▲本所と育種センターを結んだTV会議

▼ Webミーティングシステムを利用した業務報告会



④次世代研究者育成支援



・採用時、

「家族責任による研究中断のある研究者」へ配慮

応募要領に

「男女共同参画の推進と次世代育成」の姿勢を明記 (H20公募～)

新規採用者数

	男性	女性	計
H19	0	0	0
H20	2	0	2
H21	5

H22.1.1採用

★ 応募者の女性比: 37.5%

★ 採用者の女性比 : ?!

・男女共同参画意識の啓発活動

職員意識調査・職員研修（新規採用者、中堅研究職）

所内セミナー、シンポジウムの開催

④次世代研究者育成支援



・男女共同参画意識の啓発活動

職員意識調査・職員研修（新規採用者、中堅研究職）

所内セミナー、シンポジウムの開催、各種シンポジウムへの参加

つくば6研究機関男女共同参画合同シンポジウム
好奇心が開く
つくば発 共同参画文化の扉



つくば6研究教育機関による 男女共同参画宣言

私たち、つくばに拠点を持つ6研究教育機関は、科学技術を通じて社会に貢献することを責務としています。我が国は科学技術分野において女性の参画が遅れており、研究者に占める女性の割合は、欧米の先進諸国と比べて2分の1から3分の1と低いのが現状です。

私たちは、男女共同参画社会の実現にむけて、性別に関わらず多様な人材が活躍できる研究環境を整え、これまで以上に研究活動を活性化させることを目指します。同時に、女性研究者の採用を増加させ、科学技術分野への女性の参画を加速させます。

研究機関が集積しているつくば市をはじめ茨城県において、私たちは、関連する大学、研究機関、団体、産業界および市民との連携を強めることにより、多様性に基盤をおいたグローバルな研究教育機関として発展し、様々な研究成果を世界に発信するよう努めます。

2009年9月8日

物質・材料研究機構理事長

森林総合研究所理事長

産業技術総合研究所理事長

筑波大学長

農業・食品産業技術総合研究機構理事長

農業環境技術研究所理事長

潮田資勝

鈴木和夫

野間口有

山日信博

堀江武

佐藤洋平

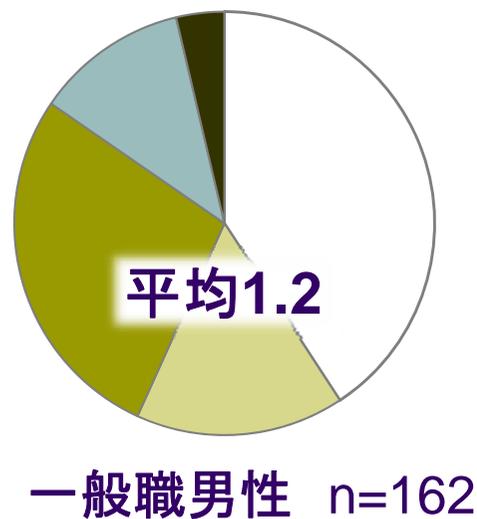
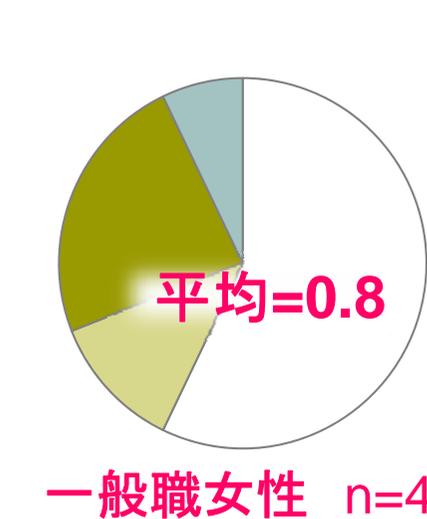
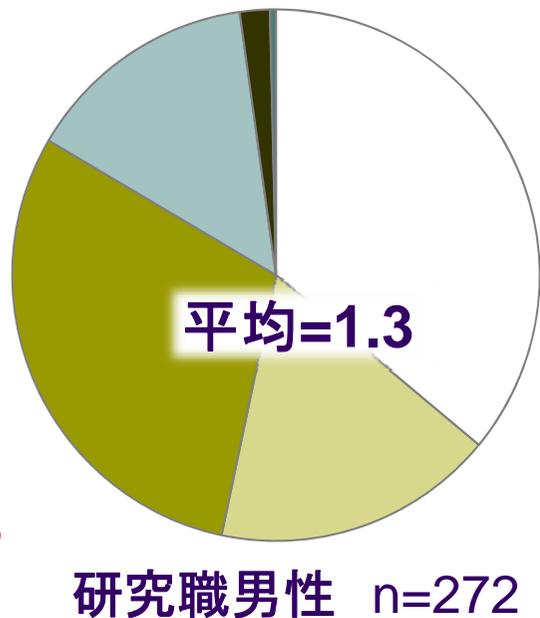
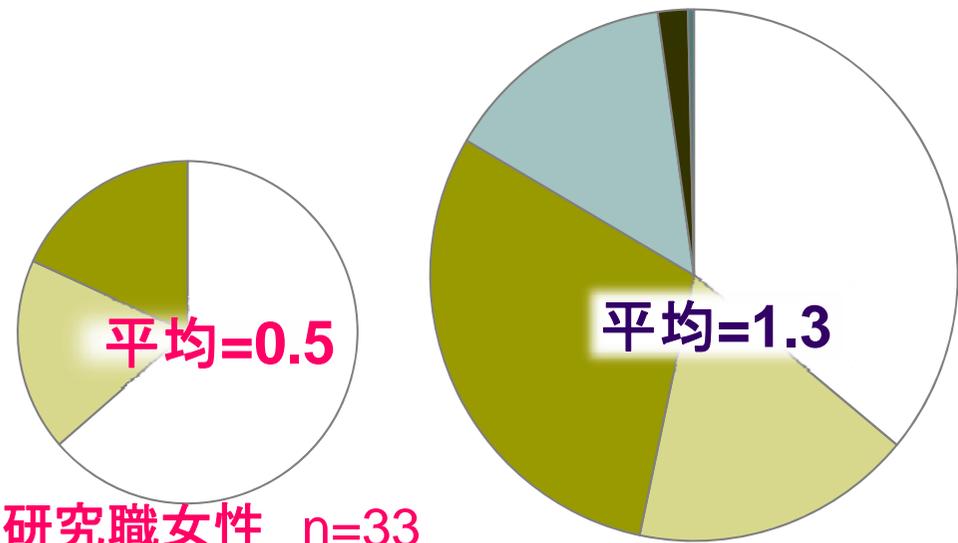


★ネットワークの
進展

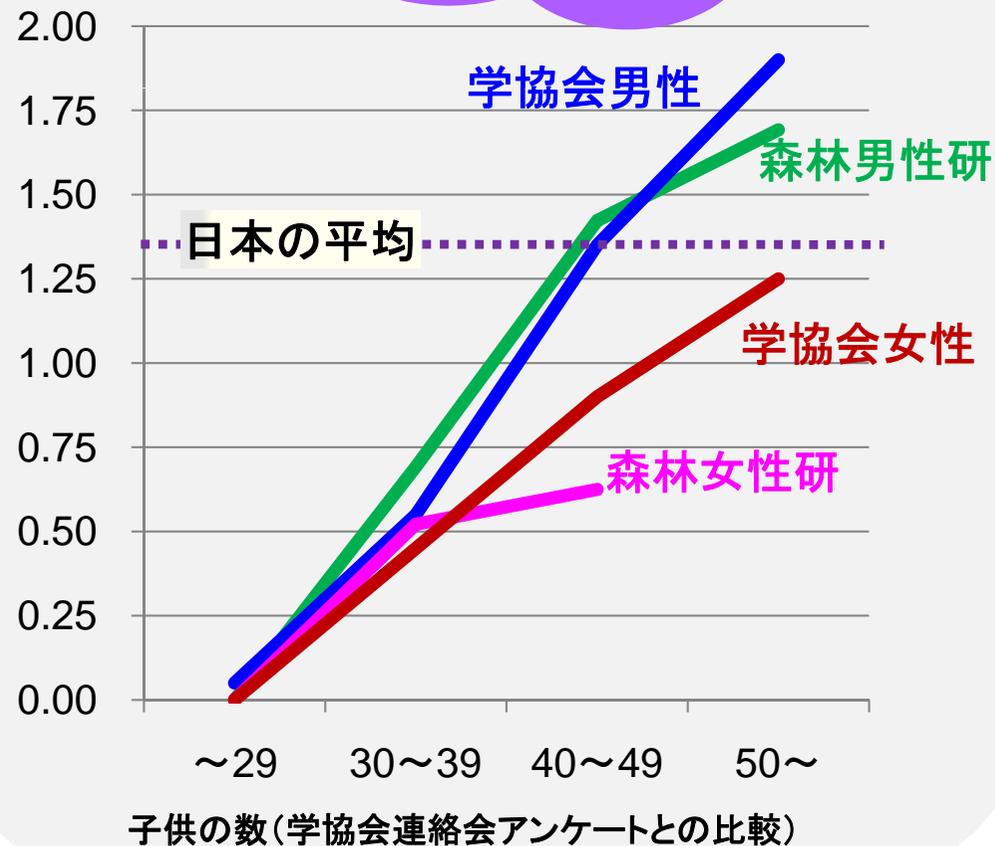
2009.9.8

つくば6研究教育機関による
男女共同参画宣言

森林総合研究所の女性職員



★事業期間中に…
2名の女性研究者
3人目を出産



職種別男女別職員の子供の数

(アンケート結果Oct. 07)

ミッションステートメント



1. 裁量労働制の採用 (研究職員)
2. 育児・介護のサポート体制整備 (本支所等)
3. IT環境の整備 (本支所等間、研究所ー自宅間)
4. 応募者・採用者の女性比率を30%に
(関連大学の女子学生比率と同等に)
5. 家族責任が原因となる中途退職者ゼロに



女性研究者 魅力あふれる研究所

